

2 の 乗りもののバリアフリー

わたしたちが、どこかへ出かけるときに頼りになるのが、鉄道や船、バス、タクシーなどの公共交通機関です。とくに、子どもやお年寄り、目の不自由な人などにとっては、ひとりで出かけようとするときに欠かせないものです。公共交通機関は、便利だけでなく、「みんな」が安全で快適に乗ることができるように、車両などのバリアフリーに取り組んでいます。

てつどう

鉄道のバリアフリー

車内には、耳の不自由な人にわかるように、次の停車駅や車両の運行情報（事故により遅れる、など）を知らせる案内表示（電光掲示や、テレビのような液晶画面での表示）があります。また、駅のホームには、電車が来ることを知らせる案内表示があります。



案内表示（車内）



案内表示（ホーム）

乗降口のすぐ横が、座席のない「車いす用スペース」になっている車両があります。車両の外側やホームにも、車いす用スペースの場所をあらわすしるしがついています。車両に乗るときや降りるときには、駅員さんや車掌さんが「渡り板」を使うこともあります。



車いす用スペース



渡り板

ふね

船のバリアフリー

のりばと船の間を移動するための「タラップ」が、車いすでもスムーズに乗れるように工夫されています。波が高く揺れがあっても、子どもやお年寄りが安全に乗り降りできるように、手すりや転落防止柵を設置しています。

大きな客船やカーフェリーには、エレベーターや多機能トイレ、バリアフリー客席や車いすスペースなどがあります。



車いすでも利用できるタラップ



船内の車いすスペース

バスのバリアフリー

車いすの人や、お年寄りでも乗りやすいように、床が低く平らな「ノンステップバス」の導入が進んでいます。



車内の車いす固定スペース



「ニーリング」の乗り降りが楽になるように、エアサスペンション(空気ばね)で車高を下げて歩道との段差を少なくします。

タクシーのバリアフリー

タクシーにも、お年寄りや障害のある人、病気の人などの要望にこたえられるよう、特別な機能を持った「福祉タクシー」が導入されています。



回転シート付きタクシー



スロープ付きタクシー



リフト付きタクシー

優先席

鉄道、船、バスなどには、お年寄りやからだの不自由な人が優先的に座ることのできる「優先席」があります。

優先席は、乗降口に近い位置にあり、座席シートの色を変えたり、ステッカーを貼ったりして、分かりやすいようにしています。



優先席マークの一例



優先席